

1. 件名：「1次補助系予熱制御盤2（C-1H009-2）の点検の遅れについて」
2. 日時：平成28年7月14日（木）13時30分～14時40分
3. 場所：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
高速増殖原型炉もんじゅ 保安検査官室
4. 出席者
原子力規制庁
敦賀原子力規制事務所
長谷川所長、塚本保安検査官、川越保安検査官、梶田保安検査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速増殖炉もんじゅ
プラント保全部 技術総括課長、外5名

5. 要旨

- 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、顛末書「A1次補助系予熱制御盤2（C-1H009-2）の点検の遅れについて」の説明を受けた。
- 保安検査官は次の点を指摘した上で、前回の保安検査（平成28年第1回保安検査、以下「前回保安検査」という。）で説明した事実関係との整合性を踏まえて説明することを求めた。
 - ・当該顛末書で「保守管理業務支援システムには担当者が自ら前倒した点検項目に対して表示される点検予定アラートと、保全計画に定める点検期限に対する点検期限アラートの2種類が存在する、複数件の点検項目に係わるアラートを確認した。」としているが、前回保安検査では点検期限アラートの説明しかなかった。
 - ・当該顛末書では、根本原因分析手法により要因分析を行ったとしているものの、本件事案は、保守管理不備に対する対応にも関係するものと考えられるが、当該顛末書にはその点に対する分析がない。

6. その他

- 資料1 顛末書「A1次補助系予熱制御盤2（C-1H009-2）の点検の遅れについて」